令和4年　１０月　３１日
台東区立金竜小学校
TEL３８７１－９８９３
ホームページ
https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310230

金竜だより

『おかげさまで』の気持ちを大切に

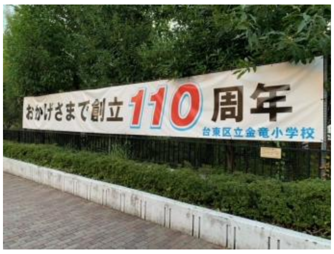
校長　　伊東　悌夫

１０月には、3 年に１度の「音楽会」や６年生全員が出場する「連合運動会」が行われ、子供たちの活躍する姿を多く見ることができました。この２つの行事に限らず、子供たちが真剣に取り組んだり、協力して一つのことを成し遂げたりする姿を目にするたびに子供たちの成長が感じられ、うれしい気持ちでいっぱいになります。これまで、コロナ禍でやれなかったことが、形を変えながらも行えるようになってきたことは、大変喜ばしいことだと感じます。

しかし、ここで忘れてはいけないのは、いろいろな工夫をして行事の準備をしてくれたり、最後までしっかり頑張れるように応援してくれたりする人たちがいるということです。「連合運動会」では、６年生に実力を発揮してもらおうと、区内１９校の全小学校から役員の先生方が運営に携わってくださいました。校内でも、５年生を中心に“壮行会”を行い、１年生から５年生までのみんなで、学校の代表である６年生を応援してくれました。「連合運動会」では、６年生一人一人が全力を出し切ってそれぞれの種目に挑戦しましたが、この６年生の素晴らしい活躍の裏側には、多くの人たちの「６年生のみんな、精一杯頑張って！」という強い思いが詰まっているのだと強く感じます。

さて、いろいろな人にお世話になってありがたいという感謝の気持ちを表す時に、『おかげさまで』と言うことがあります。自分では気づいていなくても、実は多くの人たちに応援してもらったり、知らず知らずのうちに助けてもらったりしていることは、毎日の生活の中でもよくあることです。例えば、今日楽しく生活できたと感じた時、自分自身が頑張ったこともありますが、目には見えないけれどたくさんの人の『おかげさまで』一日を無事に送ることができたのかもしれないのです。

今年度、金竜小学校正門横のフェンスには、おかげさまで創立１１０周年という横断幕が掲げられています。１１０年という年月の間には、数えきれないほどの多くの皆さんの『おかげさまで』があったことと思います。金竜小学校に寄せていただいた応援に対して、１１月１９日（土）の周年記念式典をはじめとする記念事業の中で少しでもお返しができたらと考えています。



音楽会

音楽担任

創立 110 周年音楽会に向けて、この数週間、学校のあちこちで様々な音色が鳴り響き、ご家庭でも日に日に音が「音楽」になっていく様子を、見守ってくださったのではないでしょうか。

前回の音楽会から３年間、今回の開催に至るまで、幾度にも及ぶ音楽活動の制限がありました。活動自体ができなかったり、マスクをした状態で十分に表現活動ができなかったりする日々を過ごしてきました。

その中で音楽会ができるのかと不安もありましたが、子供たちは、今できる目の前の音楽に向き合い、あきらめずに努力を重ね、舞台に立つことができました。楽しかった、声や音を合わせられた、これからはもっとこうしたい、などそれぞれに自分の頑張りを振り返っていました。音楽会を通して、技能の向上だけでなく、課題に向かい粘り強く取り組むことや、協力することの大切さなどを学ぶ機会となっていたら幸いです。